

製品名: COP ζ1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09245**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	COPZ1
別名	COPZ1; COPZ; CGI-120; HSPC181; Coatomer subunit zeta-1; Zeta-1-coat protein; Zeta-1 COP
遺伝子 ID	22818.0
SwissProt ID	P61923
免疫原	抗血清はヒト COPZ1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

背景

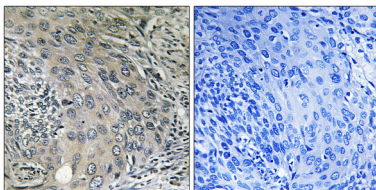
この遺伝子は、オートファジーおよび細胞内タンパク質輸送に関する細胞質コートマータンパク質複合体のサブユニットをコード

しています。コートマータンパク質複合体は7つのサブユニットから構成され、コートタンパク質複合体 (COP) I 小胞のコートタンパク質として機能します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。 [RefSeq 提供、2012年11月],function:コートマーは、ジリジンモチーフに結合し、ゴルジ体の非クラスリン被覆小胞と可逆的に会合する細胞質タンパク質複合体です。この小胞は、ERからゴルジ体を経由してトランスゴルジネットワークに至る生合成タンパク質輸送を媒介します。コートマー複合体は、ゴルジ膜からの出芽に必要であり、ジリジンタグタンパク質のゴルジ体から ER への逆行輸送に不可欠です。哺乳類では、コートマーは、小さな GTP 結合タンパク質である ADP リボシル化因子 (ARF) に関連する膜によってのみリクルートされます。この複合体は、ゴルジ体の構造的完全性、および LDL 受容体の処理、活性、エンドサイトーシスによるリサイクルにも影響を及ぼします。機能:ゼータサブユニットは、コートマー複合体との会合-解離特性により、コートの組み立て、ひいては生合成タンパク質の輸送速度の調節に関与している可能性があります。PTM:DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性:アダプター複合体の小サブユニットファミリーに属します。細胞内局在:コートマーは細胞質内にあるか、ゴルジ体の細胞質側、およびそこから発生する小胞/芽上で重合しています。サブユニット:少なくともアルファ、ベータ、ベータ'、ガンマ、デルタ、イプシロン、ゼータサブユニットからなるオリゴマー複合体です。、

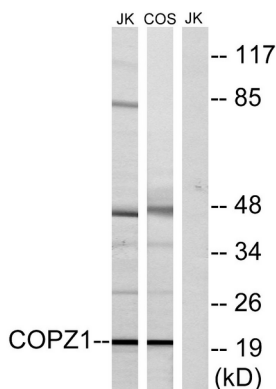
研究分野

-

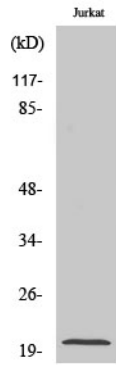
画像データ



COPZ1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



COPZ1 抗体を用いた Jurkat 細胞および COS 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



COP ζ 1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。